

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語演習 I	
科目基礎情報							
科目番号	41022			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	物質工学科			対象学年	1		
開設期	2nd-Q			週時間数	2		
教科書/教材	『TOEIC Bridge 公式ガイドブック』（国際ビジネスコミュニケーション協会）、『必携 英単語 LEAP』、『LEAP 活用ノート 1』（数研出版）、英和辞書						
担当教員	浅原 京子						
到達目標							
中学校での既習事項に加え、実際の場面での英語運用の基礎となる知識や技能を習得する。 (1)【聞く・読む】 様々な話題に関する基礎的な英文の概要を理解し、必要な情報を得て、その内容に関する質問に答えることができる。 (2)【話す・書く】 既習の語彙や文法・構文を用いて、身近な事柄について理由や具体例を挙げながら自分の考えや判断、感想を表現できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	英文の概要を理解し情報を得て、内容に関する質問に80%以上答えられる。		英文の概要を理解し情報を得て、内容に関する質問に70%以上答えられる。		英文の概要を理解し情報を得て、内容に関する質問に60%以上答えられる。		英文をの概要を理解し情報を得て、内容に関する質問に60%以上答えられない。
評価項目2	既習の語彙や文法・構文を用いて、例や理由を挙げながら自分の考えや判断、感想を論理的に表現できる。		既習の語彙や文法・構文を用いて、例や理由を挙げながら自分の考えや判断、感想を簡単な文章で表現できる。		既習の語彙や文法・構文を用いて自分の考えや判断、感想を短い文で表現できる。		既習の語彙や文法・構文を用いて自分の考えや判断、感想を表現できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日常的なコミュニケーションに必要な基本的な英語表現を学習します（CEFRレベルA1からA2）。英文を読んだり聞いたりしながら理解し、身近な話題について書いたり話したりする課題に取り組み、語彙力を強化することで、基礎的な英語運用能力を身につけます。						
授業の進め方・方法	・この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として提出課題や小テスト等を実施し、評価対象に含めます。 ・2学期末に実施するTOEIC Bridgeを視野に、「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を伸ばす練習問題や課題に取り組みます。 ・授業中の態度や演習、課題への取り組み状況も評価に含めます。 ・達成度評価はTOEIC Bridge 30%、単語小テスト20%、課題発表50%とします。ただし、実際の進度によって変更する場合があります。						
注意点	・自学自習時間を利用して予習・復習をすること。 ・各回の学習スケジュールや課題の範囲を、「事前・事後学習の課題」（学習予定表）で確認しながら予習・復習を進めること。計画的に取組み、提出期限を守ること。 ・授業には指示された教材を持参し、集中して取り組むこと。 ・授業中の活動（リーディング・リスニング・スピーキング・ライティング・発表等）に積極的に参加すること。 ・小テストや演習、課題の詳細は別途指示する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	2ndQ	9週	導入：授業の概要説明 （目標・評価基準/方法、学習の進め方、教材の使い方、TOEIC Bridge概要等について） ・サンプルテスト		・シラバスの内容を理解する。 ・授業の概要と自学自習方法を知る。 ・TOEIC Bridgeの概要を知る。		
		10週	・Listening Part 1 / Reading Part 1 ・Writing・Speaking演習		・学習した語句・表現を理解し、利用できる。 ・内容に関する質問に答えられる。		
		11週	・単語小テスト① ・Listening Part 2 / Reading Part 2 ・Writing・Speaking演習		・単語学習課題の定着度を確認する。 ・学習した語句・表現を理解し、利用できる。 ・内容に関する質問に答えられる。		
		12週	・Listening Part 3 / Reading Part 3 ・Writing・Speaking演習		・学習した語句・表現を理解し、利用できる。 ・内容に関する質問に答えられる。		
		13週	・単語小テスト② ・Listening Part 4 ・Writing/Speaking演習		・単語学習課題の定着度を確認する。 ・学習した語句・表現を理解し、利用できる。 ・内容に関する質問に答えられる。		
		14週	・模擬テスト		・模擬試験に取り組み、TOEIC Bridge受験の流れを確認する。結果を基に、パートごとの対応力を測る。		
		15週	・単語小テスト③ ・Review		・単語学習課題の定着度を確認する。 ・学習内容を振り返る。TOEIC Bridge受験の準備。		
		16週	・TOEIC Bridge受験 ・まとめ：振り返り、今後の予定		・既習事項の定着状況を確認する。 ・理解度や得意・不得意を知る。全体を振り返り、取組方法の改善と今後の目標設定に役立てる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	TOEIC Bridge		小テスト		課題発表		合計
総合評価割合	30		20		50		100
基礎的能力	30		20		50		100
専門的能力	0		0		0		0

分野横断的能力	0	0	0	0
---------	---	---	---	---